

3.3.16 無線通信部門 新世代モバイル研究開発プロジェクト推進室

室長 三浦 龍 ほか9名

新世代移動通信システムの研究開発

概要

新世代モバイル研究開発プロジェクトの研究計画の全体設計、具体化作業の企画・立案、プロジェクトの管理・運営、内外機関との調整・連携促進、研究成果の取りまとめ及び成果発表の促進等に至る一連の作業を行うことで「新世代モバイル研究開発プロジェクト」が効率よく実施でき、標準化・ビジネス化を含めて、多くの研究成果が得られることを目標とする。具体的には以下の業務を実施する。

(1)プロジェクトの推進：グループリーダー会議及び全体会議を定期的で開催し、各グループの進ちょく状況の確認、統括リーダーへの情報提供及び指示事項の具体化等を通して、プロジェクトの効率的な推進を図る。(2)共同研究、研究委託、ジョイントワークショップ開催等の外部機関との連携促進。(3)サポートメンバー会議、コンソーシアム会議、研究成果報告会等の開催。(4)標準化活動。(5)テストベッドの構築。

平成17年度の成果

- (1) 定例のグループリーダー会議及び全体会議(研究進ちょく報告会)を開催し、プロジェクト進ちょく管理を行った。国内外大学下の研究委託により外部人材の有効活用を図った。
- (2) 第4世代移動通信システム研究開発連絡会を定期的で開催し、ユニットとしての連携強化を図った。
- (3) YRP内に構築した地上デジタル放送テストベッドにおいて伝搬状況評価やギャップフィルタ技術開発に関するメーカーや放送関連団体等と共同研究を実施した。
- (4) デンマークオールボー大学とのMoUに基づき、村上研究員をオールボー大学へ派遣。欧州ISTプログラムの一つ、MAGNETプロジェクトに参加し、東京農工大学への委託研究成果とともにネットワーク方式と無線アクセス方式の両面で貢献した。
- (5) IMT-2000研究委員会標準化部会やモバイルITフォーラム(mITF)システム専門委員会等に参加、またmITF事務局による横須賀でのセミナー開催などを通じ、B3G関係の標準化動向に関する情報収集に努めるとともに、ソフトウェア無線技術に関してITU-R技術情報文書に反映させた。
- (6) 新世代モバイルプロジェクトの最終報告会とYRPテストベッドを使用した展示デモンストレーションを欧州ISTプログラムのMOCCAや総務省のIMT-Advancedワークショップとジョイントで3月末に開催し、成果の普及に努めた。
- (7) 日中ICTフォーラムや日印ICT技術フォーラム等での成果の講演発表により、アジア地域での情報交流に努めた。



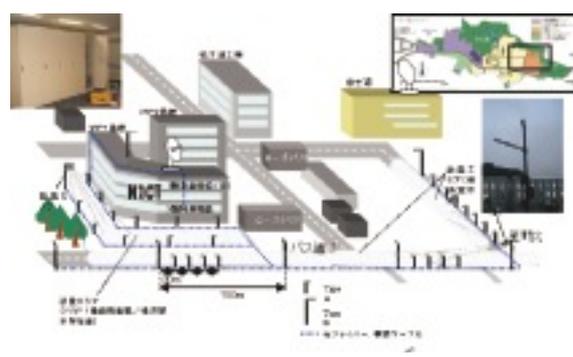
新世代移動通信シンポジウムの様子



デジタル放送テストベッド送信局設備



展示デモンストレーションの様子



YRPに構築されたテストベッド全体図